

取組事例 官民協働による地域産業の再生と観光資源の磨き上げ

(福島町)

福島町では、陸上養殖技術の開発や未利用資源の有効活用に官民が連携して取り組んでいるほか、新たな観光プログラムを構築し、地域産業の再生と雇用の創出、交流人口の拡大を図る。

関連数値目標・KPI

	基準値 (H27)	実績 (R元)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
コンブ生産量	332 t	625 t	322 t	194.1
水産加工場 就業者数	302人	176人	302人	58.3
観光入込客数	70,100人	89,508人	80,000人	111.9

取組事例Ⅰ 蝦夷アワビ陸上養殖技術の確立

推進体制

民間企業、大学、商工会、町が連携し、ノウハウを活かしながら施設開発や商品開発、マーケティングに取り組んでいる

主な取組

- 地方創生拠点整備交付金を活用し15万個の飼育が可能となる陸上養殖施設を建設
- 都内で開催された品評会で試食品を提供
- 販路開拓に向け飲食店へ原料を供給し、アンケート調査を実施

町内の学校給食でアワビカレーなどを提供

「福島に来ればいつでもアワビ」をキャッチフレーズに、道の駅等でアワビ商品の販売を開始



(品評会出展の様子)

取組事例Ⅱ 福島町昆布プロジェクトの推進

推進体制

民間企業、漁協、町の3者で事業化合意書を締結し、6次産業化の取組を効果的に推進

主な取組

- 惣菜大手メーカー「㈱ヤマザキ」「漁協」「町」により、未利用資源【早採り昆布】の有効活用に向けた共同事業実施に関する合意書を締結
- 商品化に向けて原料加工の試験研究を実施

町内の雇用増(約25名)

「早採り昆布」を使用した新商品開発

原料供給による漁業者の所得向上



(H29.2 調印式)

(新商品)

取組事例Ⅲ 新たな観光資源の創出

推進体制

町と町内有志により「(一社)福島町まちづくり工房」を設立し、まちづくりに関する企画、運営などを実施

主な取組

- 手つかずの大自然【青の洞窟】を巡る観光プログラム「岩部クルーズ」造成
- 地方創生推進交付金を活用し、海底を覗くことができる「グラスボート」を新造



町の観光資源として定着

近隣観光施設の来館者の増加にもつながっている